

札幌市介護保険事業計画推進委員会（第9期）

第1回 市民調査部会

説明資料

資料1 アンケート調査の実施概要	1
資料2 部会での協議事項について	4
資料3 高齢社会に関する意識調査項目（案）	5
資料4 要介護（支援）認定者意向調査項目（案）	14
参考資料1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について	19
参考資料2 在宅介護実態調査について	22

アンケート調査の実施概要

令和 9 年 4 月を始期とする次期高齢者支援計画の策定及び各高齢者施策、介護保険事業の実施に当たっての基礎資料とするため、各種調査を実施します。

調査項目については、今後、市民調査部会及び事業者調査部会で検討いただくこととしていますが、現時点においては、令和 4 年度の前回調査等を基にした調査概要を以下のとおり想定しているところです。

市民調査（国の調査+本市の調査）

1 高齢社会に関する意識調査

調査の目的	40 歳以上の方々の高齢社会に対する意識や高齢者福祉施策全般に関する考え方を把握・整理する。
調査対象	札幌市内在住の 40 歳以上の市民から、年代や居住区の構成比率に基づき無作為抽出の予定 (令和 4 年度調査 : 40 ~ 64 歳 1,500 人、65 歳以上 5,000 人)
想定される 主な調査項目 年齢によって 一部項目が異なります	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的事項 (記入者、居住区、生活圏域、性別、年齢、現在の生活場所) ・ 世帯状況・住まい (家族構成、今後の生活場所の希望 等) ・ 毎日の生活 (外出頻度、移動手段、経済状況、買い物、食事、相談 等) ・ 地域での活動 (各種活動への参加頻度、参加意欲 等) ・ 心身の状況 (主観的健康感、り患中の疾病・後遺症、聞こえ 等) ・ 介護予防活動 (健康維持・介護予防の取組 等) ・ たすけあい (孤独の状況・身寄り・終活の有無 等) ・ 認知症に関するこ (基本的な理解、相談先 等) ・ その他

	(保険料の負担感、サービス情報の入手先 等)
--	--------------------------

国調査との関係	65 歳以上の調査においては、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目との整合性を図る
---------	--

2 要介護（支援）認定者意向調査

調査の目的	要介護等認定者について、介護保険サービスの利用状況や家族による介護の状況などを把握する。
調査対象	札幌市内在住の要介護等認定者の中から、要介護度別及び介護保険料の所得段階別、居住区別の構成比率に基づき無作為抽出の予定 (令和 4 年度調査 : 5,000 人)
想定される主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的事項 (年齢、居住区、要介護度、介護が必要となった主な原因 等) ・ 介護保険との関わり (認定申請のきっかけ、インフォーマルサービスの利用 等) ・ 介護（予防）サービスの利用状況 (利用回数・日数、満足度、利用による生活の変化 等) ・ サービス未利用者の状況 (未利用の理由、今後の利用意向 等) ・ 今後の暮らし方・介護保険料 (今後の生活場所の希望、保険料負担のあり方 等) ・ 介護してくれる方の状況 (家族介護の頻度、負担・不安に感じること、介護離職 等)
国調査との関係	国が示す「在宅介護実態調査」の調査項目との整合性を図る

事業者調査（本市の独自調査）

3 介護保険サービス提供事業者調査

調査の目的	介護保険サービス事業者におけるサービスの提供の現状、今後の見込み及び法人の運営状況やサービス提供上の課題等を把握する。
-------	---

調査対象	札幌市内で指定、届出のある介護保険サービス事業者及びその設置法人等（みなし指定を除く） (令和4年度調査：4,797か所)
------	--

想定される 主な調査項目 (上段：事業者あて) (下段：設置法人あて)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所 (経営形態、施設種別、併設事業所の提供サービス 等) ・サービスの提供状況等 (総提供回数・時間、入所者の入所前・退所後の状況 等) ・事業所の運営 (問題点、質の向上のための取組、災害対策 等) ・職員への対応 (採用・定着状況、職員数の過不足、介護助手の活用 スポットワークの活用 等) ・介護支援専門員の意見 (事業所の過不足、業務上の困難・不安)
	<ul style="list-style-type: none"> ・形態・サービスの提供状況等 (経営形態、提供内容・事業所数) ・事業所の運営 (収支状況、人材確保・定着化の取組 外国人人材の採用 等) ・今後のサービス (増設・参入・削減予定のサービス、削減理由 等)

検討・実施予定期

- ・令和7年8～9月頃 各部会で調査項目を検討、アンケート案を作成

	市民調査部会	事業者調査部会
第1回	令和7年8月28日	令和7年9月2日
第2回	令和7年9月16日	令和7年10月1日

- ・令和7年10月22日 推進委員会でアンケート案を最終確認、総合調整
- ・令和7年11月頃 アンケート発送、回収
- ・令和7年12月頃～ 集計
結果報告等は、令和8年度の推進委員会で行う予定です。

部会での協議事項について

【1 協議の対象となる事項】

(1) 第1回目部会

ア 市独自の項目について

設問の要否や質問文・選択肢の記載内容変更など。

記載内容を変更する場合は、できるだけ経年比較が難しくなるような大きな変更とならないようにご配慮をお願いいたします。

イ 国調査のオプション項目の要否（質問内容は原則変更不可）

市民調査のみ

(2) 第2回目部会

第1回目部会での協議内容を踏まえた事務局修正案の確認。

【2 変更できない事項】

(1) 国調査で必須とされている項目 市民調査のみ

(2) インターネット調査で利用するシステムの仕様 事業者調査のみ

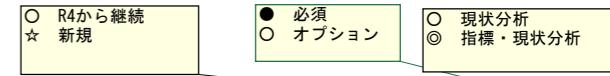
【3 各種調査の回答率向上策】

第3回推進委員会でのご意見を踏まえ、以下のとおり検討しています。

高齢社会に関する意識調査	・市HP、広報さっぽろ、広報部X、市公式LINEに掲載
要介護（支援）認定者 意向調査	・市HP、広報さっぽろ、広報部X、市公式LINEに掲載 ・居宅介護支援事業所等に回答作成支援を依頼
介護保険サービス 提供事業者調査	・集団指導にて周知 ・回答の事前準備シートを併せて提供

【資料3】R7高齢社会に関する意識調査 (40歳以上共通43問、65歳以上のみ+40問)

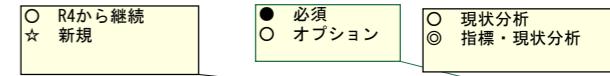
65歳以上



設問No.	対応No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載
1 基本的事項について										
問1-1	1	共通	記入者	調査票を記入しているのはどなたですか	単一	あて名のご本人 ご家族 その他		○	●	-
問1-2	2	共通	居住区	あなたのお住まいの区を教えてください	単一	中央区、北区、東区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区、西区、手稲区	新規区分データ把握のため	☆		
問1-3	3	共通	生活圏域	札幌市では、高齢者とその家族への総合的な支援などを行う地域包括支援センターを27か所設置しています。あなたがお住まいの地区を担当する地域包括支援センターはどこですか ※ 詳細は、別紙1 地域包括支援センター担当地区一覧をご覧ください。	単一	※表形式		○		-
問1-4	4	共通	性別	あなたの性別を教えてください	単一	男性 女性 その他		○		-
問1-5	5	共通	年齢	あなたの現在の年齢を教えてください	単一	満65~69歳 満70~74歳 満75~79歳 満80~84歳 満85~89歳 満90~94歳 満95歳以上		○		-
問1-6	6	共通	現在の生活場所	あなたは現在、どこで生活をしていますか ※1 「サービス付き高齢者向け住宅」とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整えた住宅をいいます。 ※2 60歳以上で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入所する施設で、A型、B型、ケアハウスの3種類があります。 ※3 「施設」には、老人保健施設や病院を含みます。	単一	自分または家族の持ち家（一戸建） 自分または家族の持ち家（マンション） 民間の借家（一戸建） 民間の借家（マンション、アパート） サービス付き高齢者向け住宅※1などの高齢者向け住宅 道営・市営住宅、公団住宅 グループホーム 軽費老人ホーム※2、有料老人ホーム、養護老人ホーム その他（具体的に） 特別養護老人ホームなどの施設※3に入所中【⇒問8へ】		○	○	○
2 世帯の状況・住まいについて 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問2-1	7	共通	家族構成	あなたの世帯の家族構成を教えてください	単一	ひとり暮らし 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） 息子や娘との2世帯 その他（具体的に）		○	●	○
問2-2	8	共通	現地域での居住継続希望	あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか	単一	住み続けたい 住み続けたいとは思わない どちらともいえない わからない		○		○
問2-3	9	共通	生活環境の整備状況	あなたは、札幌市には、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○		◎
問2-4	10	共通	今後の生活場所の希望	あなたは、仮にひとり暮らしになったり、身体が弱くなったり、日常生活を送るうえで判断力が不十分になった場合に、どこで生活したいですか	単一	現在の場所での生活を続けたい（増改築して住み続ける場合を含む） 住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む） 特別養護老人ホームやグループホームで暮らししたい わからない		○		○
問2-5	11	共通	在宅生活に必要なこと	介護が必要になっても、在宅で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか	複数	住み続けられる住まいがある 家族が同居、または近くにいる 身近に利用できる医療機関がある 通つたり宿泊したりできる介護サービスがある 夜間に訪問してくれる介護サービスがある 見守ってくれる友人・知人が近くにいる 利用しやすい交通機関がある 身近に買い物できる場所がある 緊急時の連絡手段がある 紙おむつの支給が受けられる その他（具体的に） 特にない		○		○
問2-6	12	共通	最期を迎える場所	あなたは、最期をどこで迎えたいと思いますか	単一	自宅 特別養護老人ホーム グループホーム 病院・診療所 サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅 その他（具体的に） 考えたことはない わからない		○		○
3 毎日の生活について 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問3-1	65	外出頻度	週に1回以上は外出していますか	単一	ほとんど外出しない 週1回 週2~4回 週5回以上		○	●		
問3-2	65	外出機会の減少	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	単一	とても減っている 減っている あまり減っていない 減っていない		○	●		
問3-3	65	移動手段	外出する際の移動手段は何ですか	複数	徒歩 自転車 バイク 自動車（自分で運転） 自動車（人に乗せてもらう） 市電・地下鉄 JR（鉄道） 路線バス 病院や施設のバス 車いす 電動車いす（カート） 歩行器・シルバーカー タクシー その他（具体的に）		○	○		
問3-4	65	単独外出	バスやJR（鉄道）、市電・地下鉄を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●		
問3-5	65	経済状況	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	単一	大変苦しい やや苦しい ふつう ややゆとりがある 大変ゆとりがある		○	●		
問3-6	65	請求書の支払い	自分で請求書の支払いをしていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●		
問3-7	65	預貯金の出し入れ	自分で預貯金の出し入れをしていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●		
問3-8	65	食品・日用品の買物	自分で食品・日用品の買物をしていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●		

【資料3】R7高齢社会に関する意識調査 (40歳以上共通43問、65歳以上のみ+40問)

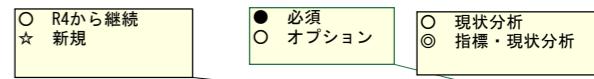
65歳以上



設問No.	対応No	対象	設問題旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期
問3-9		65	食事の用意	自分で食事の用意をしていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問3-10		65	会食の機会	どなたかと食事をともにする機会はありますか	単一	毎日ある 週に何度もある 月に何度もある 年に何度もある ほとんどない		○	●	
問3-11	13	共通	現在の困りごとや将来の不安	現在困っていることや心配なこと、将来に向け不安に思うことはありますか	複数	※表形式		○	—	
13				現在困っていること・心配なこと		健康面 生活費 仕事 住まい 食事の準備(栄養) 掃除・洗濯 生きがいや楽しみがない 自分の介護 家族の介護 自分や家族の認知症への対応 財産管理 交通事故 火の始末 詐欺(さぎ)等の犯罪被害 通院 日々の買物 緊急時の連絡手段 家族関係 相談相手がない 除雪 冬期間の外出・交通手段 ごみ捨て 災害時の避難 孤立死 自分が亡くなった後のこと その他(具体的に) 特にない		○	○	○
				将来不安なこと		健康面 生活費 仕事 住まい 食事の準備(栄養) 掫除・洗濯 生きがいや楽しみがない 自分の介護 家族の介護 自分や家族の認知症への対応 財産管理 交通事故 火の始末 詐欺(さぎ)等の犯罪被害 通院 日々の買物 緊急時の連絡手段 家族関係 相談相手がない 除雪 冬期間の外出・交通手段 ごみ捨て 災害時の避難 孤立死 自分が亡くなった後のこと その他(具体的に) 特にない				
問3-12	14	共通	困りごとや不安の相談先	あなたは、困っていることや不安に思うことを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか	複数	市の窓口(区役所・保健センター・まちづくりセンターなど) 地域包括支援センター 介護予防センター 健康づくりセンター 病院などの医療機関 ケアマネジャー ホームヘルパー 入居中の住宅の相談員など 民生委員 福祉のまち推進センター 町内会 家族 親戚 知人 人権擁護委員 老人福祉センター その他(具体的に) わからない 特にない		○	○	○
4 地域での活動について 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問4-1		65	活動への参加頻度	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか	単一	※表形式		○	●	○
問4-1-1				①ボランティアのグループ		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-2				②スポーツ関係のグループやクラブ		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-3				③趣味関係のグループ		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-4				④学習・教養サークル		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-5				⑤体操(運動)や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				◎
問4-1-6				⑥老人クラブ		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-7				⑦町内会・自治会		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-8				⑧収入のある仕事		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-9				⑨保育の手伝いや子育てサロンへの参加などの子育て支援		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-10				⑩家事援助、移送などの高齢者への支援		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-11				⑪祭りなど地域の催し物の世話役など		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-1-12				⑫交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動		週4回以上 週2・3回 週1回 月1~3回 年に数回 参加していない				
問4-2		65	不参加の理由	【問4-1-1~12のすべてに「参加していない」の方のみ】 参加していない理由は何ですか	複数	体力・健康面に不安がある 自分に合った活動が見つからない きっかけや情報がない 人間関係が不安・煩わしい 意欲がわかない、関心がない 経済的に余裕がない 仕事で時間がない 家事や介護・育児で時間がない 趣味に時間を使いたい その他 特に理由はない		○		○
問4-3		65	参加意欲	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか	単一	ぜひ参加したい 参加してもよい 参加したくない すでに参加している		○	●	
問4-4		65	企画・運営意欲	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか	単一	ぜひ参加したい 参加してもよい 参加したくない すでに参加している		○	●	◎
問4-5		65	社会参加の機会	札幌市では、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○		◎

【資料3】R7高齢社会に関する意識調査 (40歳以上共通43問、65歳以上のみ+40問)

65歳以上



設問No.	対応No	対象	設問題旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期
問4-6	15	共通	介護の仕事への就労意欲	少子高齢化に伴い、「介護のおしごと」の需要が高まっていますが、あなたは携わってみたいと思いますか（介護福祉士などの介護職や、特別な資格のいらない介護助手としての就労のほか、ボランティアとしてのお手伝いも含みます） ※介護助手とは、原則として身体介護（食事介助、排せつ介助、入浴介助など）を行わず、食事の配膳や掃除、ベッドメイキングなどを行う職員をいいます。	単一	就労としてぜひ携わってみたい 就労として携わることに興味がある ボランティアとしてぜひ携わってみたい ボランティアとして携わることに興味がある あまり携わってみたいとは思わない 携わってみたいとは思わない		○		
問4-7	16	共通	勤務形態（頻度）の希望	【問4-6で「就労として携わってみたい」「就労として携わることに興味がある」の方のみ】 どのような勤務形態（頻度）で働きたいですか	単一	フルタイム パートタイム（週4日以上） パートタイム（週2・3日） パートタイム（週1日）		○		
5 心身の状況について 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問5-1		65	身長・体重	身長・体重を教えてください	記述	□□□cm □□□kg		○	●	
問5-2	17	共通	主観的健康感	現在あなたの健康状態はいかがですか	単一	とてもよい まあよい あまりよくない よくない		○	●	◎
問5-3	18	共通	り患中の疾病、後遺症	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	複数	ない 高血圧 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 心臓病 糖尿病 高脂血症（脂質異常） 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） 胃腸・肝臓・胆のうの病気 腎臓・前立腺の病気 筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等） 外傷（転倒・骨折等） がん（悪性新生物） 血液・免疫の病気 うつ病 認知症（アルツハイマー病等） パーキンソン病 目の病気 耳の病気 その他（具体的に）		○	●	○
問5-4	19	共通	健康状態で気になっていること	最近、ご自身の健康状態について気になっていることはありますか	複数	膝や腰に痛みがある 足腰の筋力が落ちてきた 眠れない、眠りが浅い 疲れやすい 目が見えづらくなってきた 耳が遠くなってきた 物忘れが増えた ここ半年間で体重が2～3kg以上減った 固いものが食べにくくなってきた お茶や汁物でむせる 口が渴く その他（具体的に） 特にない		○	○	○
問5-5		65	咀嚼	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	単一	はい いいえ		○	●	
問5-6		65	歯数	歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	単一	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		○	●	
問5-7		65	聞こえ	最近、ご自身の聞こえの状態について気になっていることはありますか	複数	会話をしているときに聞き返す 後ろから呼びかけられると気づかないことがある 聞き間違えが多い 話し声が大きいと言われる 見えないところからの車の接近に気づかない 電子レンジなどの電子音が聞こえない 耳鳴りがある	新規	☆		
問5-8		65	聞こえ	聞こえる音量について教えてください。	単一	ささやき声や静かな声は聞き取れない場合がある 普通の大きさの声を聞き取れないことがある 大きな声で話をしてもらわないと聞き取れないことがある かなり大きな声なら感じることができる 補聴器を付けても聞き取れない	新規	☆		
問5-9		65	喫煙	タバコは吸っていますか	単一	ほぼ毎日吸っている 時々吸っている 吸っていたがやめた もともと吸っていない		○	●	
問5-10		65	階段昇降	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問5-11		65	歩行	15分位続けて歩いていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問5-12		65	立ち上がり	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問5-13		65	過去1年間の転倒	過去1年間に転んだ経験がありますか	単一	何度もある 1度ある ない		○	●	
問5-14		65	転倒に対する不安	転倒に対する不安は大きいですか	単一	とても不安である やや不安である あまり不安でない 不安でない		○	●	
問5-15		65	物忘れ	物忘れが多いと感じますか	単一	はい いいえ		○	●	
問5-16		65	幸福度	あなたは、現在どの程度幸せですか	単一	とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ		○	●	
問5-17		65	抑うつ①（気分・気持ち）	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	単一	はい いいえ		○	●	
問5-18		65	抑うつ②（興味・関心）	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	単一	はい いいえ		○	●	
問5-19	20	共通	介護・介助の必要性	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか ※ここでの「介護」とは、介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護保険の要介護（支援）認定を受けていない場合でも、常にご家族などの援助を受けている状態を含みます。	単一	介護・介助は必要ない 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 現在、何らかの介護・介助を受けている		○	●	

【資料3】R7高齢社会に関する意識調査 (40歳以上共通43問、65歳以上のみ+40問)

65歳以上



設問No.	対応No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期
問5-20	21	共通	要介護等認定状況	介護保険の要介護（支援）認定等は受けていますか ※要介護（支援）認定等の結果は、被保険者の皆様に交付している、「介護保険被保険者証」の2ページ目の「要介護状態区分等」欄に記載されています。	単一	要介護（支援）認定等は受けていない（新規申請中を含む） 「事業対象者」に該当している「要支援1」の認定を受けている 「要支援2」の認定を受けている 「要介護1」の認定を受けている 「要介護2」の認定を受けている 「要介護3」の認定を受けている 「要介護4」の認定を受けている 「要介護5」の認定を受けている		○		
6 介護予防活動について 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問6-1	22	共通	フレイルの認知度	あなたはフレイルを知っていますか	単一	言葉も意味も知っている 聞いたことはあるが意味は知らない 聞いたことがない		○		
問6-2	23	共通	健康維持・増進の意識	あなたは、普段から介護予防のためにご自身の健康維持・増進を意識していますか。 ※「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むこと	単一	強く意識している 意識している あまり意識していない ほとんど意識していない		○		
問6-3	24	共通	健康維持・介護予防の取組	【問6-2】で「強く意識している」「意識している」の方 あなたが、健康維持・介護予防のために行っていることはありますか	複数	休養や睡眠を十分にとっている 毎日の食事に気をついている 市販の健康食品や栄養剤・ビタミン剤をとっている 酒を控えている タバコをやめている 歯や口の中を清潔に保つように心がけている 閉じこもりがちにならないように外出している 運動不足にならないように身体を動かしている 身の回りのことは自分でしている 気持ちを明るく保つように心がけている 健康診断などを定期的に受けている 健康・介護予防のための研修会や講習会に参加している 健康・介護の悩みや心配を相談している 閉じこもり予防のための仲間づくり 新聞・雑誌・テレビなどから健康に関する情報を集めている その他（具体的に） 意識しているが、何をすればよいかわからない	選択肢を整理	○		
問6-4	25	共通	認知症予防の取組	あなたが、認知症予防のために取り組んでいることはありますか	複数	運動を心がける 口腔の手入れ 栄養のバランスに気をつける 人との交流 趣味を持つ その他（具体的に） 特にない		○		○
問6-5	26	共通	元気で暮らし続けるための取組	札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で暮らし続けるための取組が十分になされていると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○		○
問6-6	27	共通	取組が十分ではないと思う理由	【問6-5で「あまりそう思わない」「そう思わない」の方のみ】 取組が十分になされていないと思う理由は次のうちどれですか	複数	地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから 社会参加の機会があまりないから 生涯学習やスポーツの機会が少ないから 困ったときの相談窓口が整備されていないから その他（具体的に） 特に理由はない		○		○
問6-7	28	共通	地域包括支援センターの認知度	あなたは、地域包括支援センターを知っていますか	単一	知っている 知らない	事業全体の一部の選択肢として聞いていたものを、包括単独の設問に変更	☆		
問6-8	65	介護予防センターの認知度	あなたは、介護予防センターを知っていますか	単一	知っている 知らない		☆			
7. たすけあいについて 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問7-1	65	心配事などを聞いてくれる人	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に） そのような人はいない		○	●	○	
問7-2	65	心配事などを聞いてあげる人	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に） そのような人はいない		○	●		
問7-3	65	看病などをしてくれる人	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に） そのような人はいない		○	●	○	
問7-4	65	看病などをしてあげる人	反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に） そのような人はいない		○	●		
問7-5	29	共通	避難警報発令時の避難行動	大雨洪水警報が発令された時など避難が必要な場合に、現在頼れる人及び将来的に頼りたい人は誰ですか	記述	※表形式		○		
問7-5-1			現在頼れる人			配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に） そのような人はいない				○
問7-5-2			将来的に頼りたい人			配偶者 同居の子ども 别居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に） そのような人はいない				○
問7-6	30	共通	孤独の状況	あなたはどの程度、孤独であると感じことがありますか	単一	決してない ほとんどない たまにある 時々ある しばしばある・常にある	新規	☆		
問7-7	65	身寄り	あなたの身寄り（※）について、あなたとの関係を教えてください ※ここでいう身寄りとは、入院・介護施設等の入所・転居に際して身元を保証してくれる方、亡くなった後の様々な手続きを行ってくれる方などをいいます	複数	配偶者 同居の子ども 别居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 その他（具体的に） そのような人はいない	新規	☆			
問7-8	65	終活の有無	あなたは終活（※）を行っていますか ※ここでいう終活とは、人生の終わりに向けて、今後の住まいに関する事、医療や介護、亡くなった後の葬儀やお墓などについて事前に準備しておくことをいいます。	単一	行っている 関心はあるが行っていない 関心がなく行っていない	新規	☆			

【資料3】R7高齢社会に関する意識調査 (40歳以上共通43問、65歳以上のみ+40問)

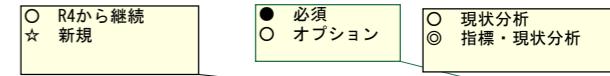
65歳以上



設問No.	対応No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載	
問8-1	31	共通	認知症の人に対する接し方	あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか	単一	はい いいえ		○		○	
問8-2	32	共通	経験内容	【問8-1で「はい」の方のみ】 経験したことがあるのは、どのようなことですか	複数	家族の中に認知症の人がいる 家族の中に認知症の人がいた 親戚の中に認知症の人がいる 親戚の中に認知症の人がいた 友人や友人の家族に認知症の人がいる 友人や友人の家族に認 知症の人がいた 近所付き合いの中で認知症の人と接したことがある 仕事を通じて認知症の 人と接したことがある 街なかなどで、たまたま認知症の人と接したことがある 自身に認知 症の症状がある その他（具体的に）		○	●	○	
問8-3	33	共通	認知症の基本的な理解	認知症とは、加齢による物忘れとは違い、脳の神経細胞の働きが低下する病気で、誰もがなり得る可能性があります。症状は「記憶障害」の他、周囲の対応や環境に影響されて起こる「感情障害」などがあります。早期に適切な診断や治療を受けることで、症状の改善や進行を遅らせたり、今後の生活に備えることが可能です。あなたはこのことをどの程度ご存じでしたか。	単一	よく知っている ある程度知っている どちらともいえない あまり知らない 知らない わ からない	新規	☆			
問8-4	34	共通	認知症への偏見	認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあると思いますか	単一	そう思う どちらかといえばそう思う どちらともいえない どちらかといえばそう思わない そう思わない わからない		○		○	
問8-5	35	共通	認知症の人が自分らしく暮らすと想定する市民の割合	「認知症になってからも希望をもって自分らしく暮らすことができる」とあなたは思いますか	単一	そう思う どちらかといえばそう思う どちらともいえない どちらかといえばそう思わない（理由 そう思わない（理由）	新規	☆			
問8-6	36	共通	認知症の相談窓口の認知度	認知症に関する相談窓口を知っていますか	単一	はい いいえ		○	●	○	
問8-7	37	共通	認知症の相談先	仮にあなたやご家族の方に認知症の心配がある場合に、どこに相談しますか	複数	市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど） 地域包括支援センター 介護 予防センター ケアマネジャー 入居中の住宅の相談員など 民生委員 町内会 家族 知人 電話相談（認知症コールセンターなど） かかりつけ医 認知症疾患医療センター 認 知症カフェ 認知症の人と家族の会 その他（具体的に） わからない 誰にも相談し ない	認知症疾患医療セン ターを追加	○		○	
9 その他											
問9-1	65	保険料段階	介護保険料の段階は何段階ですか ※介護保険料の段階は、本年6月以降に被保険者の皆様あてにお送りした、「令和7年度介護保険料納入通知書」または「令和7年度介護保険料特別徴収決定通知書」の2枚目に記載されています。	単一	第1段階 第2段階 第3段階 第4段階 第5段階 第6段階 第7段階 第8段階 第9 段階 第10段階 第11段階 第12段階 第13段階 わからない	段階表を更新	○				
問9-2	65	保険料の負担感	あなたは、現在支払っている保険料について、どう思いますか	単一	負担ではない 少し負担である とても負担である わからない		○				
問9-3	65	保険料負担のあり方	あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか ※介護保険料は所得に応じた金額設定となっています（○ページ参照）	単一	所得の高い人と低い人とは、現状くらいのバランスで負担し合う 所得の高い人の負担を増や し、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める） 所得の高い人の負担を減らし、所得の 低い人の負担を増やす（累進性を弱める） その他（具体的に） わからない		○				
問9-4	38	共通	サービスと保険料の関係	介護保険料（※）は、介護サービスに要する費用などの見込みに基づき、3年ごとに見直されています。介護保険制度における介護サービスと保険料の関係について、あなたはどう考えますか ※介護保険料のうち、65歳以上の被保険者にかかる「第1号保険料」は、介護保険事業計画期間の3年間で見込まれるサービス費用のうち、第1号保険料全体で負担すべき金額をまかなうことができるよう設定し、市の条例や介護保険事業計画の中で定めます。一方、40歳以上64歳以下の被保険者にかかる「第2号保険料」は、それぞれが加入している医療保険の医療保険者が独自の算定方法により設定しています。	単一	介護サービスの種類や利用上限を増やすなどの充実が図られることに伴い、介護保険料が現状 より高くなることはやむを得ない 介護サービスの種類や利用上限を増やすなどは現状程度に 維持され、介護保険料も現状程度が維持されることが望ましい 介護保険料を現状よりも低く 抑えるため、介護サービスの種類や利用上限を減じるなどの見直しが行われることはやむを得 ない その他（具体的に） わからない		○			
問9-5	39	共通	高齢者的人権尊重	札幌市では、高齢者的人権が尊重され、権利が守られていると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わから ない		○			
問9-6	40	共通	サービス情報の入手先	高齢者の保健・福祉サービスに関する情報は、主にどこから入手していますか	複数	新聞・情報誌 テレビ ラジオ インターネット（ホームページなど） SNS（LINE、X、 Instagramなど） 市の広報（広報さっぽろなど） 市の窓口（区役所・保健センター・ま ちづくりセンターなど） 地域包括支援センター 介護予防センター 病院などの医療機関 ケ アマネジャー やホームヘルパー 民生委員 福祉のまち推進センター 町内会 家族・親戚・ 知人 老人福祉センター その他（具体的に） 特に入手していない	SNSを追加	○			

【資料3】 R7高齢社会に関する意識調査 (40歳以上共通43問、65歳以上のみ+40問)

65歳以上



設問No.	対応No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期
問9-7	41	共通	おむつサービス事業	高齢者等おむつサービス事業は、介護保険料により実施しており、要介護3～5で一定の要件を満たした方に、月6,500円以内（対象者は利用額の1割を負担、生活保護受給者は負担なし）で月1回自宅におむつを配達する事業で、利用者の自己負担を除く必要な経費全額を介護保険料から充当して実施しています。高齢化率の上昇に伴い利用者が年々増加しています。この事業の今後について、あなたはどのように考えますか	単一	現状を維持するために介護保険料の負担増もやむを得ない、所得による制限（所得が一定額以上の方は事業の対象外とする）を導入するべきである、所得による制限（所得が一定額以上の方は事業の対象外とする）を導入し、利用負担なしとするべきである、所得が一定額以上の方の利用負担額（通常1割）を上げ、その他の利用者は利用負担なしとするべきである、利用負担額（通常1割）を上げるべきである、利用上限額（6,500円）を下げるべきである、この事業を廃止してもよい、その他（具体的に）		○		
問9-8	42	共通	今後の調査方法	本アンケート調査の実施方法について、あなたはどちらの形式が回答しやすいですか。	単一	紙のアンケート WEBのアンケート どちらでもよい ※WEBのアンケートとは、スマートフォンやパソコンからホームページにアクセスして行う方法です	新規	○		
10 自由記載										
問10	43	共通	高齢者施策全般への要望・意見	札幌市のこれから保険・福祉サービスや介護保険制度などの高齢者施策全般について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○		

【資料3】R7高齢社会に関する意識調査

(40歳以上共通43) 問

40歳～64歳

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載
										9期
1 基本的事項について										
問1-1	1	共通	記入者	調査票を記入しているのはどなたですか	単一	あて名のご本人 ご家族 その他		○	●	—
問1-2	2	共通	居住区	あなたのお住まいの区を教えてください	単一	中央区、北区、東区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区、西区、手稲区	新規区分データ把握のため	☆		
問1-3	3	共通	生活圏域	札幌市では、高齢者とその家族への総合的な支援などを行う地域包括支援センターを27か所設置しています。あなたがお住まいの地区を担当する地域包括支援センターはどこですか ※ 詳細は、別紙1 地域包括支援センター担当地区一覧をご覧ください。	単一	※表形式		○		—
問1-4	4	共通	性別	あなたの性別を教えてください	単一	男性 女性 その他		○		—
問1-5	5	共通	年齢	あなたの現在の年齢を教えてください	単一	満40～44歳 満45～49歳 満50～54歳 満55～59歳 満60～64歳		○		—
問1-6	6	共通	現在の生活場所	あなたは現在、どこで生活をしていますか ※ 1 「サービス付き高齢者向け住宅」とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整えた住宅をいいます。 ※ 2 60歳以上、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入所する施設で、A型、B型、ケアハウスの3種類があります。 ※ 3 「施設」には、老人保健施設や病院を含みます。	単一	自分または家族の持ち家（一戸建） 自分または家族の持ち家（マンション） 民間の借家（一戸建） 民間の借家（マンション、アパート） サービス付き高齢者向け住宅※1などの高齢者向け住宅 道営・市営住宅、公団住宅 グループホーム 軽費老人ホーム※2、有料老人ホーム、養護老人ホーム その他（具体的に） 特別養護老人ホームなどの施設※3 に入所中【⇒問5へ】		○	○	○
2 生活状況等について 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問2-1	7	共通	家族構成	あなたの世帯の家族構成を教えてください	単一	ひとり暮らし 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） 息子や娘との2世帯 その他（具体的に）		○	●	○
問2-2	8	共通	現地域での居住継続希望	あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか	単一	住み続けたい 住み続けたいとは思わない どちらともいえない わからない		○		○
問2-3	9	共通	生活環境の整備状況	あなたは、札幌市には、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○		○
問2-4	10	共通	今後の生活場所の希望	あなたは、仮にひとり暮らしになったり、身体が弱くなったり、日常生活を送るうえで判断力が不十分になった場合に、どこで生活したいですか	単一	現在の場所での生活を続けたい（増改築して住み続ける場合を含む） 住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む） 特別養護老人ホームやグループホームで暮らしたい わからない		○		○
問2-5	11	共通	在宅生活に必要なこと	介護が必要になっても、在宅で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか	複数	住み続けられる住まいがある 家族が同居、または近くにいる 身近に利用できる医療機関がある 通つたり宿泊したりできる介護サービスがある 夜間に訪問してくれる介護サービスがある 見守ってくれる友人・知人が近くにいる 利用しやすい交通機関がある 身近に買い物できる場所がある 緊急時の連絡手段がある 紙おむつの支給が受けられる その他（具体的に） 特にない		○		○
問2-6	12	共通	最期を迎える場所	あなたは、最期をどこで迎えたいと思いますか	単一	自宅 特別養護老人ホーム グループホーム 病院・診療所 サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅 その他（具体的に） 考えたことはない わからない		○		○
問2-7	13	共通	現在の困りごとや将来の不安	現在困っていることや心配なこと、将来に向け不安に思うことはありますか	複数	※表形式		○		—
問2-7-1	13			現在困っていること・心配なこと		健康面 生活費 仕事 住まい 食事の準備（栄養） 掃除・洗濯 生きがいや楽しみがない 自分の介護 家族の介護 自分や家族の認知症への対応 財産管理 交通事故 火の始末 詐欺（さぎ）等の犯罪被害 通院 日々の買物 緊急時の連絡手段 家族関係 相談相手がない 除雪 冬期間の外出・交通手段 ごみ捨て 災害時の避難 孤立死 自分が亡くなった後のこと その他（具体的に） 特にない	選択肢を追加（認知症、孤独・孤立関係）	○		○
問2-7-2	13			将来不安なこと		健康面 生活費 仕事 住まい 食事の準備（栄養） 掫除・洗濯 生きがいや楽しみがない 自分の介護 家族の介護 自分や家族の認知症への対応 財産管理 交通事故 火の始末 詐欺（さぎ）等の犯罪被害 通院 日々の買物 緊急時の連絡手段 家族関係 相談相手がない 除雪 冬期間の外出・交通手段 ごみ捨て 災害時の避難 孤立死 自分が亡くなった後のこと その他（具体的に） 特にない	選択肢を追加（認知症、孤独・孤立関係）	○		○
問2-8	14	共通	困りごとや不安の相談先	あなたは、困っていることや不安に思うことを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか	複数	市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど） 地域包括支援センター 介護予防センター 健康づくりセンター 病院などの医療機関 ケアマネジャー ホームヘルパー 入居中の住宅の相談員など 民生委員 福祉のまち推進センター 町内会 家族 親戚 知人 人権擁護委員 老人福祉センター その他（具体的に） わからない 特にない		○	○	○

【資料3】R7高齢社会に関する意識調査 (40歳以上共通43) 問

40歳～64歳

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載	
										9期	
問2-9	15	共通	介護の仕事への就労意欲	少子高齢化に伴い、「介護のおしごと」の需要が高まっていますが、あなたは携わってみたいと思いますか（介護福祉士などの介護職や、特別な資格のいらない介護助手としての就労のほか、ボランティアとしてのお手伝いも含みます）※介護助手とは、原則として身体介護（食事介助、排せつ介助、入浴介助など）を行わず、食事の配膳や掃除、ベッドメイキングなどを行う職員をいいます。	単一	就労としてぜひ携わってみたい 就労として携わることに興味がある ボランティアとしてぜひ携わってみたい ボランティアとして携わることに興味がある あまり携わってみたいとは思わない 携わってみたいとは思わない		○			
問2-10	16	共通	勤務形態（頻度）の希望	【問4-6で「就労として携わってみたい」「就労として携わることに興味がある」の方のみ】どのような勤務形態（頻度）で働きたいですか	単一	フルタイム パートタイム（週4日以上） パートタイム（週2・3日） パートタイム（週1日）		○			
問2-11	29	共通	避難警報発令時の避難行動	大雨洪水警報が発令された時など避難が必要な場合に、現在頼れる人及び将来的に頼りたい人は誰ですか	記述	※表形式		○			
問2-11-1	29			現在頼れる人		配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に） そのような人はいない					○
問2-11-2	29			将来的に頼りたい人		配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に） そのような人はいない					○
問2-12	30	共通	孤独の状況	あなたはどの程度、孤独であると感じことがありますか	単一	決してない ほとんどない たまにある 時々ある しばしばある・常にある	新規	☆			
3 心身の状況について 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】											
問3-1	17	共通	主観的健康感	現在のあなたの健康状態はいかがですか	単一	とてもよい まあよい あまりよくない よくない		○	●	◎	
問3-2	18	共通	り患中の疾病、後遺症	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	複数	ない 高血圧 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 心臓病 糖尿病 高脂血症（脂質異常） 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） 胃腸・肝臓・胆のうの病気 腎臓・前立腺の病気 筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等） 外傷（転倒・骨折等） がん（悪性新生物） 血液・免疫の病気 うつ病 認知症（アルツハイマー病等） パーキンソン病 目の病気 耳の病気 その他（具体的に） そのような人はいない		○	●	○	
問3-3	19	共通	健康状態で気になっていること	最近、ご自身の健康状態について気になっていることはありますか	複数	膝や腰に痛みがある 足腰の筋力が落ちてきた 眠れない、眠りが浅い 疲れやすい 目が見えづらくなってきた 耳が遠くなってきた 物忘れが増えた ここ半年間で体重が2～3kg以上減った 固いものが食べにくくなってきた お茶や汁物でむせる 口が渴く その他（具体的に） 特にない		○	○	○	
問3-4	20	共通	介護・介助の必要性	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか ※ここでの「介護」とは、介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護保険の要介護（支援）認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態を含みます。	単一	介護・介助は必要ない 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 現在、何らかの介護・介助を受けている		○	●		
問3-5	21	共通	要介護等認定状況	介護保険の要介護（支援）認定等は受けていますか ※要介護（支援）認定等の結果は、被保険者の皆様に交付している、「介護保険被保険者証」の2ページ目の「要介護状態区分等」欄に記載されています。	単一	要介護（支援）認定等は受けていない（新規申請中を含む） 「事業対象者」に該当している「要支援1」の認定を受けている 「要支援2」の認定を受けている 「要介護1」の認定を受けている 「要介護2」の認定を受けている 「要介護3」の認定を受けている 「要介護4」の認定を受けている 「要介護5」の認定を受けている		○			
4 介護予防活動について 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】											
問4-1	22	共通	フレイルの認知度	あなたはフレイルを知っていますか	単一	言葉も意味も知っている 聞いたことはあるが意味は知らない 聞いたことがない		○			
問4-2	23	共通	健康維持・増進の意識	あなたは、普段から介護予防のためにご自身の健康維持・増進を意識していますか。 ※「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むこと	単一	強く意識している 意識している あまり意識していない ほとんど意識していない		○			
問4-3	24	共通	健康維持・介護予防の取組	あなたが、健康維持・介護予防のために行っていることはありますか	複数	休養や睡眠を十分にとっている 毎日の食事に気をつけており 市販の健康食品や栄養剤・ビタミン剤をとっている 酒を控えている タバコをやめている 齒や口の中を清潔に保つように心がけている 閉じこもりがちにならないように外出している 運動不足にならないように身体を動かしている 身の回りのことは自分でしている 気持ちを明るく保つように心がけている 健康診断などを定期的に受けている 健康・介護予防のための研修会や講習会に参加している 健康・介護の悩みや心配を相談している 閉じこもり予防のための仲間づくり 新聞・雑誌・テレビなどから健康に関する情報を集めている その他（具体的に） 意識しているが、何をすればよいかわからない	選択肢を整理	○			
問4-4	25	共通	認知症予防の取組	あなたが、認知症予防のために取り組んでいることはありますか	複数	運動を心がける 口腔の手入れ 栄養のバランスに気をつける 人との交流 趣味を持つ その他（具体的に） 特にない		○		○	
問4-5	26	共通	元気で暮らし続けるための取組	札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で暮らし続けるための取組が十分になされていると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○			○

【資料3】R7高齢社会に関する意識調査

(40歳以上共通43) 問

40歳～64歳

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載	
										9期	
問4-6	27	共通	取組が十分ではないと思う理由	【問4-5で「あまりそう思わない」「そう思わない」の方のみ】取組が十分になされていないと思う理由は次のうちどれですか	複数	地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから 社会参加の機会があまりないから 生涯学習やスポーツの機会が少ないから 困ったときの相談窓口が整備されていないから その他(具体的に) 特に理由はない		○		○	
問4-7	28	共通	地域包括支援センターの認知度	あなたは、地域包括支援センターを知っていますか	単一	知っている 知らない	事業全体の一部の選択肢として聞いていたもののを、包括単独の設問に変更	☆			
5 認知症に関すること											
問5-1	31	共通	認知症に接した経験	あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか	単一	はい いいえ		○			○
問5-2	32	共通	経験内容	【問5-1で「はい」の方のみ】経験したことがあるのは、どのようなことですか	複数	家族の中に認知症の人がいる 家族の中に認知症の人がいた 親戚の中に認知症の人がいる 親戚の中に認知症の人がいた 友人や友人の家族に認知症の人がいる 友人や友人の家族に認知症の人がいた 近所付き合いの中で認知症の人と接したことがある 仕事を通じて認知症の人と接したことがある 街なかなどで、たまたま認知症の人と接したことがある 自身に認知症の症状がある その他(具体的に)		○	●	○	
問5-3	33	共通	認知症の基本的な理解	認知症とは、加齢による物忘れとは違う、脳の神経細胞の働きが低下する病気で、誰もがなり得る可能性があります。症状は「記憶障害」の他、周囲の対応や環境に影響されて起こる「感情障害」などがあります。早期に適切な診断や治療を受けることで、症状の改善や進行を遅らせたり、今後の生活に備えることが可能です。あなたはこのことをどの程度ご存じでしたか。	単一	よく知っている ある程度知っている どちらともいえない あまり知らない 知らない わからない	新規	☆			
問5-4	34	共通	認知症への偏見	認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあると思いますか	単一	そう思う どちらかといえばそう思う どちらともいえない どちらかといえばそう思わない そう思わない わからない		○			○
問5-5	35	共通	認知症の人が自分らしく暮らさると考えている市民の割合	「認知症になってからも希望をもって自分らしく暮らすことができる」とあなたは思いますか	単一	そう思う どちらかといえばそう思う どちらともいえない どちらかといえばそう思わない(理由) そう思わない(理由)	新規	☆			
問5-6	36	共通	認知症の相談窓口の認知度	認知症に関する相談窓口を知っていますか	単一	はい いいえ		○	●	○	
問5-7	37	共通	認知症の相談先	仮にあなたやご家族の方に認知症の心配がある場合に、どこに相談しますか	複数	市の窓口(区役所・保健センター・まちづくりセンターなど) 地域包括支援センター 介護予防センター ケアマネジャー 入居中の住宅の相談員など 民生委員 町内会 家族 親戚 知人 電話相談(認知症コールセンターなど) かかりつけ医 認知症疾患医療センター 認知症カフェ 認知症の人と家族の会 その他(具体的に) わからない 誰にも相談しない	認知症疾患医療センターを追加	○		○	
6 その他											
問6-1	38	共通	サービスと保険料の関係	介護保険料(※)は、介護サービスに要する費用などの見込みに基づき、3年ごとに見直されています。介護保険制度における介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか ※介護保険料のうち、65歳以上の被保険者にかかる「第1号保険料」は、介護保険事業計画期間の3年間で見込まれるサービス費用のうち、第1号保険料全体で負担すべき金額をまかなうことができるよう設定し、市の条例や介護保険事業計画の中で定めます。一方、40歳以上64歳以下の被保険者にかかる「第2号保険料」は、それぞれが加入している医療保険の医療保険者が独自の算定方法により設定しています。	単一	介護サービスの種類や利用上限を増やすなどの充実が図られることに伴い、介護保険料が現状より高くなることはやむを得ない 介護サービスの種類や利用上限を増やすなどは現状程度に維持され、介護保険料も現状程度が維持されることが望ましい 介護保険料を現状よりも低く抑えるため、介護サービスの種類や利用上限を減じるなどの見直しが行われることはやむを得ない その他(具体的に) わからない		○			
問6-2	39	共通	高齢者的人権尊重	札幌市では、高齢者的人権が尊重され、権利が守られていると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○			
問6-3	41	共通	おむつサービス事業	高齢者等おむつサービス事業は、介護保険料により実施しており、要介護3～5で一定の要件を満たした方に、月6,500円以内(対象者は利用額の1割を負担、生活保護受給者は負担なし)で月1回自宅におむつを配達する事業で、利用者の自己負担を除く必要な経費全額を介護保険料から充当して実施しています。高齢化率の上昇に伴い利用者が年々増加しています。この事業の今後について、あなたはどう考えますか	単一	現状を維持するため介護保険料の負担増もやむを得ない 所得による制限(所得が一定額以上の方は事業の対象外とする)を導入するべきである 所得による制限(所得が一定額以上の方は事業の対象外とする)を導入し、利用負担なしとするべきである 所得が一定額以上の方の利用負担額(通常1割)を上げ、その他の利用者は利用負担なしとするべきである 利用負担額(通常1割)を上げるべきである 利用上限額(6,500円)を下げるべきである この事業を廃止してもよい その他(具体的に)		○			
問6-4	42	共通	今後の調査方法	本アンケート調査の実施方法について、今回は紙のアンケートで実施をしましたが、アンケートに回答する際、あなたはどちらの形式が好みですか。	単一	紙のアンケート WEBのアンケート どちらでもよい ※WEBのアンケートとは、スマートフォンやパソコンからホームページにアクセスして行う方法です	新規	☆			
7 自由記載											
問7	43	共通	高齢者施策全般への要望・意見	札幌市のこれから保険・福祉サービスや介護保険制度などの高齢者施策全般について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○			

【資料4】R7要介護（支援）認定者意向調査 (共通61問、うち家族介護者のみ13問)

R4から継続して必要
 新規
 必須
 オプション
 現状分析
 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期
1 基本的事項について									
予備調査①	共通	要介護度	あなたの現在の要介護（支援）度を教えてください	単一	要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 わからない その他（具体的に）【⇒調査終了】		○	●	
予備調査②	共通	現在の生活場所	あなたは現在、どこで生活していますか ※ 「サービス付き高齢者向け住宅」とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整えた住宅をいいます。	単一	在宅（一戸建、集合住宅（高齢者向け住宅を除く）、親族・知人の家など）で生活している サービス付き高齢者向け住宅※などの高齢者向け住宅で生活している 軽費老人ホーム（A型、B型）、ケアハウス、有料老人ホーム、養護老人ホームで生活している その他の施設、病院などに入所（入院）している【⇒調査終了】	選択肢文言修正	○		
問1-1	共通	記入者	調査票にご回答いただいているのはどなたですか	複数	調査対象者本人 主な介護者である家族・親族 主な介護者以外の家族・親族 その他（具体的に）		○	●	
問1-2	共通	性別	あなたの性別を教えてください	単一	男性 女性 その他		○	●	
問1-3	共通	年齢	あなたの年齢を教えてください	単一	満64歳以下 満65～69歳 満70～74歳 満75～79歳 満80～84歳 満85～89歳 満90～94歳 満95歳以上		○	●	
問1-4	共通	居住区	あなたのお住まいの区を教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外		○		
問1-5	共通	施設入所の検討状況	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況を教えてください	単一	入所・入居は検討していない 入所・入居を検討している すでに入所・入居申し込みをしている		○	●	
問1-6	共通	施設で重視する点	もしあなたが施設等への入居・入所を検討する場合に、特に重視する点は何ですか（最大5つ）	複数	毎月の費用 立地・周辺環境 建物・設備の充実度合い 施設職員の人柄や雰囲気 個室であること 施設運営法人 介護体制の充実度 医療体制の充実度 食事 行事・リクリエーション ほかの入所者・入居者の雰囲気 その他（具体的に）		○		
問1-7	共通	同居人	あなたと同居している方（「二世帯住宅」にお住いの方を含む）はどなたですか	複数	配偶者 息子 娘 子の配偶者 親・配偶者の親 孫・孫の配偶者 兄弟・姉妹 その他（具体的に） ひとり暮らし		○	●	
問1-8	共通	り患中の疾病、後遺症	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	複数	高血圧 脳卒中（脳出血・脳梗塞など） 心臓病 糖尿病 高脂血症（脂質異常） 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎など） 胃腸・肝臓・胆のうの病気 腎臓・前立腺の病気 筋肉・関節・骨の病気（腰痛・膝痛を含む） 外傷（転倒・骨折など） がん（悪性新生物） 血液・免疫の病気 うつ病 認知症（アルツハイマー病など） パーキンソン病 目の病気 耳の病気 齒や歯茎の病気 その他（具体的に） 特にない		○	○	○
問1-9	共通	介護が必要となった主な原因	介護が必要となった主な原因は何ですか	単一	脳卒中（脳出血・脳梗塞など）、心疾患（心臓病）、悪性新生物（がん）、呼吸器疾患（肺気腫、肺炎、気管支炎など）、関節疾患（関節リウマチ、腰痛など）、認知症（アルツハイマー病など）、パーキンソン病、糖尿病、視覚・聴覚障害（眼内障、難聴など）、骨折・転倒、脊髄損傷、高齢による衰弱（特にこれといった病気と診断されていないものの、老いて体の機能が衰弱したもの）、その他（具体的に）、わからない	新規	☆		
2 あなたと介護保険の関わりについて									
問2-1	共通	認定申請のきっかけ	あなたが要介護（支援）認定を受けたきっかけはどのようなことですか	複数	家族や知人などに勧められたから 医師に勧められたから 病気で入院中に、退院に向けて必要だと思ったから 病気により、生活が不便になったから 年齢とともに少しずつ体力が落ちてきたから 物忘れが多くなってきたから 1人で生活することが不安になったから 何もする気になれば、じっとしていることが多くなったから 将来何かあったときのために、備えておきたかったから その他（具体的に）	項目追加	○		
問2-2	共通	要介護度の変化	最初に要介護（支援）認定を受けたときと現在の要介護（支援）度に変化はありましたか	単一	要介護（支援）度が軽くなった 変化はなかった 要介護（支援）度が重くなった		○		
問2-3	共通	重度化防止の取組	要介護（支援）度が重くならないように気をつけていることはありますか	複数	転倒対策をしている（杖を使うなど） 身の回りのことは自分でする 家に閉じこもらないように外出する 食事（回数・量・栄養） 運動不足にならないように体を動かしている お酒を飲まない タバコを吸わない ベッド以外の場所へ移動する 身だしなみを整える 歯や口の中を清潔に保つ その他（具体的に） 特にない	選択肢文言修正	○		
問2-4	共通	直近のサービス利用	あなたは1か月の間に、介護保険による介護（予防）サービスを利用していますか	単一	利用している 利用していない		○	●	○
問2-5	共通	利用中のインフォーマルサービス	現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービス（※）について教えてください ※ 総合事業に基づく支援・サービスは、介護保険サービスに含めます	複数	配食 調理 掃除・洗濯 買い物（宅配は含まない） ごみ出し 外出同行（通院、買い物など） 移送サービス（介護・福祉タクシーなど） 見守り、声かけ サロンなどの定期的な通いの場 その他（具体的に） 利用していない		○	○	
問2-6	共通	インフォーマルサービスの利用意向	【問2-5で「利用していない」の方のみ】 問2-5にある介護保険サービス以外の支援・サービスを利用しても良いと思いますか	単一	はい いいえ 【⇒問2-4で利用していないを回答した方は、問4-1へ】		○		○

【資料4】 R7要介護（支援）認定者意向調査 (共通61問、うち家族介護者のみ13問)

R4から継続して必要
 新規
 必須
 オプション
 現状分析
 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期
3 介護（予防）サービスの利用状況について 【問2-4で「介護（予防）サービスを利用している」の方のみ】									
問3-1	共通	サービス利用状況（回数/週）	下表に記載の各サービスの1週間あたりの利用回数について教えてください	単一	※表形式		○	●	
問3-1-1			訪問介護（ホームヘルプサービス）		1回程度 2回程度 3回程度 4回程度 5回以上 利用していない【⇒問3-2-1】				
問3-1-2			訪問入浴介護		1回程度 2回程度 3回程度 4回程度 5回以上 利用していない				
問3-1-3			訪問看護（介護保険分）		1回程度 2回程度 3回程度 4回程度 5回以上 利用していない				
問3-1-4			訪問リハビリテーション		1回程度 2回程度 3回程度 4回程度 5回以上 利用していない				
問3-1-5			通所介護（デイサービス）		1回程度 2回程度 3回程度 4回程度 5回以上 利用していない【⇒問3-3-1】				
問3-1-6			通所リハビリテーション（デイケア）		1回程度 2回程度 3回程度 4回程度 5回以上 利用していない				
問3-1-7			夜間対応型訪問介護		1回程度 2回程度 3回程度 4回程度 5回以上 利用していない				
問3-2	共通	具体的な訪問介護の内容	【問3-1-1で訪問介護を利用している】方のみ 訪問介護では、具体的にどのようなサービスを利用していますか	複数	調理 掃除 洗濯 買物 食事の介助 服薬の介助 トイレの介助やおむつの交換 入浴や洗拭の介助 着替えや身支度の介助 歩行や車いす介助 通院の介助 その他（具体的に）		○		○
問3-3	共通	訪問介護の利用時間	訪問介護サービスの1回あたりの利用時間は、通院の介助にかかる時間を除いて、概ねどれくらいですか	単一	20分未満 20分～30分未満 30分～45分未満 45分～60分未満 60分～75分未満 75分～90分未満 90分～120分未満 120分以上		○		
問3-4	共通	具体的な通所介護の内容	【問3-1-5で「通所介護を利用している」方のみ】 通所介護では、具体的にどのようなメニューを利用していますか	複数	入浴 食事 筋力トレーニング、体操など体を動かす内容 ゲームや趣味・創作活動 音楽活動（カラオケなど） 栄養改善 口腔機能（食べる・噛む・話す）の向上 健康チェック（体温、血圧測定など） その他（具体的に）		○		
問3-5	共通	通所介護の利用時間	通所介護サービスの1回あたりの利用時間は、概ねどれくらいですか	単一	2時間未満 2時間～3時間未満 3時間～4時間未満 4時間～5時間未満 5時間～6時間未満 6時間～7時間未満 7時間以上		○		
問3-6	共通	サービス利用状況（日数・回数/月）	下表に記載の各サービスの1か月あたりの利用日数・回数について教えてください	単一	※表形式		○	●	
問3-6-1			居宅療養管理指導		1回程度 2回程度 3回程度 4回程度 5回以上 利用していない				
問3-6-2			短期入所（ショートステイ）		1～7日程度 8～14日程度 15～21日程度 22日以上 利用していない				
問3-7	共通	サービス利用状況（有無）	下表に記載の各サービスの利用の有無について教えてください	単一	※表形式		○	●	
問3-7-1			定期巡回・随時対応型訪問介護看護		利用していない 利用した				
問3-7-2			小規模多機能型居宅介護		利用していない 利用した				
問3-7-3			看護小規模多機能型居宅介護		利用していない 利用した				
問3-8	共通	サービス内容の満足度	下表に記載の各サービスの満足度について教えてください	単一	※表形式		○		
問3-8-1			訪問介護（ホームヘルプサービス）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-2			訪問入浴介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-3			訪問看護（介護保険分）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-4			訪問リハビリテーション		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-5			居宅療養管理指導		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-6			通所介護（デイサービス）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-7			通所リハビリテーション（デイケア）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-8			短期入所（ショートステイ）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-9			特定施設入居者生活介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-10			福祉用具貸与		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-11			居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-12			定期巡回・随時対応型訪問介護看護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				

【資料4】 R7要介護（支援）認定者意向調査 (共通61問、うち家族介護者のみ13問)

R4から継続して必要
 新規
 必須
 オプション
 現状分析
 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期	
問3-8-13			夜間対応型訪問介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない					
問3-8-14			地域密着型通所介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない					
問3-8-15			認知症対応型通所介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない					
問3-8-16			小規模多機能型居宅介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない					
問3-8-17			看護小規模多機能型居宅介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない					
問3-9	共通	サービス内容が不満な理由	【問3-8のいずれかで「（やや）不満」の方のみ】不満に感じている理由を教えてください	複数	サービス担当者の対応 サービスの回数や時間 サービスの利用料金 サービスの種類やメニュー サービス施設までの移動時間 その他（具体的に）		○			
問3-10	共通	サービス量の満足度	現在受けている介護（予防）サービス量について、どのくらい満足していますか	単一	満足している ほぼ満足している 満足していない		○			
問3-11	共通	サービス量が不満な理由	【問3-10で「満足していない」の方のみ】満足していない理由を教えてください	複数	利用回数・日数を増やしたり、他のサービスも利用したりしたいが、自己負担が増えるので控えているから 利用回数・日数を増やしたり、他のサービスも利用したりしたいが、利用限度額を超えるので控えているから 他にも利用したいサービスがあるが、そのサービスを利用できる事業所が近くにないから 他にも利用したいサービスがあるが、そのサービスに空きがないから その他（具体的に）		○			
問3-12	共通	近くにない事業所	【問3-11で「事業所が近くにないから」の方のみ】近くにないサービス事業所は、次のうちどれですか	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院		○			
問3-13	共通	空きがないサービス	【問3-11で「空きがないから」の方のみ】空きがないサービスは、次のうちどれですか	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院		○			
問3-14	共通	サービス利用による生活の変化	介護（予防）サービスを利用することにより、生活にどのような変化がありましたか	複数	自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた 精神的に楽になった 家族に対する気兼ねが減った 体調が良くなった 外出することが増えた その他（具体的に） 特に変化はない		○			
4 介護（予防）サービスを未利用の方の状況について 【問2-4で「介護（予防）サービスを利用していない」の方のみ】										
問4-1	共通	利用経験	あなたは今までに介護保険による介護（予防）サービスを利用したことがありますか	単一	以前は利用していた 今までまったく利用したことがない		○		○	
問4-2	共通	未利用の理由	あなたが介護（予防）サービスを現在利用していない理由は何ですか	複数	サービスを利用しなくても自分で生活できるから 本人が希望していないから 家族など介護してくれる人がいるから 以前よりも状態が改善したから 家族が急病など、緊急時のショートステイの利用のみ希望しているから 病院（医療保険適用）に入院しているから サービス利用料（サービス費用の1～3割の負担額）が負担になるから 利用したいサービスがあるが、そのサービスを利用できる事業所が近くにないから【⇒問4-3】 利用を希望したが、サービスに空きがないから【⇒問4-4】 住宅改修や福祉用具の購入だけを希望していたから いざという時のために、とりあえず要介護（支援）認定申請したから サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからないから 以前受けているサービスに不満があったから その他（具体的に）		○	○	○	
問4-3	共通	近くにない事業所	【問4-2で「事業所が近くにないから」の方のみ】近くにないサービス事業所は、次のうちどれですか	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院		○			

【資料4】 R7要介護（支援）認定者意向調査 (共通61問、うち家族介護者のみ13問)

R4から継続して必要
 新規
 必須
 オプション
 現状分析
 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期	
問4-4	共通	空きがないサービス	【問4-2で「空きがないから」の方のみ】 空きがないサービスは、次のうちどれですか	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院			○		
問4-5	共通	今後の利用意向	今後どのような状況になったときに、介護（予防）サービスを利用しようと思いませんか	単一	身の回りのことが自分でできなくなったとき 利用したいサービス事業所が近くにできたとき 利用したいサービスの定員に空きができたとき 介護者が介護を続けることが困難になったとき その他（具体的に） 今後も利用する予定はない		○		○	
5 今後の暮らし方・介護保険料について										
問5-1	共通	今後の生活場所の希望	今後、要介護度が重くなるなど状況が変わったときに、どのようなところで過ごしたいと考えていますか	単一	現在の場所で生活を続けたい（自宅の場合、増改築を含む） 住み替えにより在宅での生活を続けたい 特別養護老人ホームに入所したい 介護老人保健施設に入所したい 介護医療院に入所したい グループホームに入居したい ケアハウスや有料老人ホームに入居したい サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅に入居したい その他（具体的に）		○			
問5-2	共通	ヘルパー不足についての考え方	高齢化の進行、介護人材の不足などの要因から、ヘルパー（※）不足が問題となっています。今後もし、自宅でヘルパーによる支援が受けられなくなった場合、あなたはどうしますか ※ヘルパーとは、介護保険サービスとして居宅を訪問し、身体介護や生活援助を行う資格を持つ方をいいます	単一	ヘルパーを利用していないのでわからない ヘルパーではなくてもよいので、支援してくれる人に来てほしい（地域住民やボランティアなど） ヘルパーが来てくれるまで待つ 介護施設への入所を検討する その他（具体的に）	新規	☆			
問5-3	共通	自立した生活に必要なこと	もしあなたが施設等への入居・入所を検討する場合に、特に重視する点は何ですか（最大5つ）	単一	住み続けられる住まいがある 家族が同居、または近くにいる 除雪体制が整っている 通院がしやすい環境である 必要な介護サービスの量が利用できる 24時間体制の安心できる介護サービスがある 24時間体制の安心できる医療サービスがある いつでも何でも相談できる窓口がある 近所付き合いの中で見守り体制がつくられている 見守ってくれる友人・知人が近くにいる 介護に要する費用が過大にならない 利用しやすい交通機関がある 身近に買い物できる場所がある 緊急時の通報手段がある その他（具体的に）		○	○		
問5-4	共通	サービスと保険料の関係	介護保険料は、介護サービスに要する費用の見込みに基づき、3年ごとに見直されています。介護保険制度における介護サービスと保険料の関係について、あなたはどうのように考えますか	単一	介護サービスの種類や利用上限を増やすなどの充実が図られることに伴い、介護保険料が現状より高くなることはやむを得ない 介護サービスの種類や利用上限などは現状程度に維持され、介護保険料も現状程度が維持されることが望ましい 介護保険料を現状よりも低く抑えるため、介護サービスの種類や利用上限を減じるなどの見直しが行われることはやむを得ないわからない その他（具体的に）		○			
問5-4	共通	保険料負担のあり方	あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか	単一	所得の高い人と低い人とは、現状くらいのバランスで負担し合うべきである 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）べきである 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす（累進性を弱める）べきである わからない その他（具体的に）		○			
問5-5	共通	充実してほしいサービス	あなたが、今後より充実してほしいと考える介護サービスはどれですか（3つ以内）	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援・介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院		○			
6 介護してくれる方の状況について ※問6-3以降【問6-2で「配偶者」「子」「親・配偶者の親」「兄弟・姉妹」「孫」「その他の親族」の方のみ】										
問6-1	共通	家族介護の頻度	家族や親族から（同居していない子どもや親族等を含む）の介護は週にどのくらいありますか	単一	ない 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない 週に1～2日ある 週に3～4日ある ほぼ毎日ある		○	●		
問6-2	共通	主な介護者	あなたを主に介護してくれる方はどなたですか	単一	配偶者 子（子の配偶者を含む） 親・配偶者の親 兄弟・姉妹 孫（孫の配偶者を含む） その他の親族 友人・知人、ボランティア ヘルパー・施設職員 その他（具体的に） そのような人はいない【⇒問7】		○	○	○	
問6-3	家族介護者	家族介護者の性別	主な家族介護者の性別を教えてください	単一	男性 女性 その他		○	○		
問6-4	家族介護者	家族介護者の年齢	主な家族介護者の年齢を教えてください	単一	20歳未満 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60～69歳 70～79歳 80～89歳 90歳以上 わからない		○	●	○	

【資料4】R7要介護（支援）認定者意向調査 (共通61問、うち家族介護者のみ13問)

R4から継続して必要
 新規
 必須
 オプション
 現状分析
 指標・現状分析

設問No.	対象	設問題旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期
問6-5	家族介護者	家族介護者の負担感	主な家族介護者の介護の負担感はどの程度ですか	単一	負担ではない 少し負担である 負担である とても負担である【負担・とても負担→問6-6】		○		○
問6-6	家族介護者	家族介護者が負担に感じること	【問6-5で「負担ではない」以外の方のみ】主な家族介護者が負担に感じることはどのようなことですか	複数	介護に時間がかかり自分の時間が取れない 介護者自身の健康管理ができない 周りの人が大変さを理解してくれない 介護に協力してくれる人がいない 経済的負担が大きい 子育て中であり、介護と育児の両立が難しい 介護について相談できる人がいない 離れて暮らしており、介護のために通うことが難しい 頻繁に安否確認をしたり、健康状態などを気にかけたりしている 介護サービスが十分ではない（具体的に ） その他（具体的に ）		○		○
問6-7	家族介護者	主な介護者が行っている介護等	現在、主な家族介護者の方が行っている介護などについて教えてください	複数	日中の排泄 夜間の排泄 食事の介助（食べる時） 入浴・洗身 身だしなみ（洗顔・歯磨きなど） 衣服の着脱 屋内の移乗・移動 外出の付き添い、送迎など 服薬 認知症状への対応 医療面での対応（経管栄養、ストーマなど） 食事の準備（調理など） その他の家事（掃除、洗濯、買い物など） 金銭管理や生活面に必要な諸手続き その他（具体的に ） わからない		○	○	
問6-8	家族介護者	家族介護者が不安に感じる介護等	現在の生活を継続していくにあたって、主な家族介護者の方が不安に感じる介護などについて教えてください（現状で行っているか否かは問いません）（最大3つ）	複数	日中の排泄 夜間の排泄 食事の介助（食べる時） 入浴・洗身 身だしなみ（洗顔・歯磨きなど） 衣服の着脱 屋内の移乗・移動 外出の付き添い、送迎など 服薬 認知症状への対応 医療面での対応（経管栄養、ストーマなど） 食事の準備（調理など） その他の家事（掃除、洗濯、買い物など） 金銭管理や生活面に必要な諸手続き その他（具体的に ） わからない 不安に感じていることは、特にない		○	●	
問6-9	家族介護者	家族介護者の相談先	主な家族介護者の方が、介護などについて困っていることや不安に感じることを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか	複数	市の窓口（区役所・まちづくりセンターなど） 地域包括支援センター 介護予防センター かかりつけの医療機関 ケアマネジャー ホームヘルパー 入居中の住宅の相談員など 訪問看護ステーション 家族会など 家族 親戚 知人 その他（具体的に ） わからない 特にない		○		○
問6-10	家族介護者	家族介護者支援に重要なこと	家族介護者支援として重要なことはどのようなことだと考えますか	複数	ショートステイなど、家族介護者が介護から離れることができるサービスの充実 特別養護老人ホームなどの施設設備の充実 家族介護者同士の交流の場の確保 家族介護者に対する相談窓口の充実 介護手当の支給などの経済的な支援 介護に対する社会的理理解の促進 高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターへの相談手段の充実 その他（具体的に ）		○		○
問6-11	家族介護者	介護離職	ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか（現在の就労状況や勤務形態は問いません。なお、自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます）	複数	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） 主な介護者が転職した 主な介護者以外の家族・親族が転職した 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない わからない		○	●	○
問6-12	家族介護者	家族介護者の現在の勤務形態	主な家族介護者の方の現在の勤務形態を教えてください	単一	フルタイムで働いている パートタイムで働いている 働いていない わからない【⇒問7-1】		○	●	
問6-13	家族介護者	家族介護者の働き方の調整	【問6-12で「フル（パート）タイムで働いている」の方のみ】主な家族介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか	複数	特にに行っていない 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・中抜け・早帰など）」しながら、働いている 介護のために、「休暇（年次有給休暇や介護休暇など）」を取得しながら、働いている 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている 介護のために、「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている わからない		○	●	
問6-14	家族介護者	家族介護者の勤め先からの支援	主な家族介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（最大3つ）	複数	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない 介護休業・介護休暇等の制度の充実 制度を利用しやすい職場づくり 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） 仕事と介護の両立に関する情報の提供 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 介護をしている従業員への経済的な支援 その他（具体的に ） 特にない わからない		○	○	
問6-15	家族介護者	家族介護者の介護と仕事の両立	【問6-12で「フル（パート）タイムで働いている」の方のみ】主な家族介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていくそうですか	単一	問題なく、続けていける 問題はあるが、何とか続けていける 続けていくのは、やや難しい 続けていくのは、かなり難しい わからない		○	●	○
問6-16	共通	ケアラーの認知度	あなたは「ケアラー」という言葉を知っていますか	単一	内容もよく知っている 聞いたことがあるが、内容はよく知らない 知らない・聞いたことがない		○		
7 災害への備え									
問7-1	共通	避難する場合の援助者	大雨や洪水警報により、避難が必要となった場合に、誰に助けを求めるですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない		○		○
問7-2	共通	避難する場合の避難先	大雨や洪水警報により、避難が必要となった場合に、指定避難所及び要配慮者二次避難所（福祉避難所）以外に避難する場所はありますか	複数	別居の子ども宅 兄弟姉妹・親戚・親・孫宅 友人宅 宿泊施設 その他（具体的に ） そのような場所はない		○		○
8 自由記載									
問8	共通	高齢者施策全般への要望・意見	要介護認定や介護保険サービスの利用、その他高齢者施策全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○		

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(以下、「ニーズ調査」)は、保険者が、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定(地域診断)に資することなどを目的として実施
- からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査
- 第5期介護保険事業計画策定時から厚生労働省が調査票などを例示
- なお、調査票等は例示であり、地域の実情を円滑かつ効果的に把握するために活用いただくことを想定

第10期介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の概要

名称	(第9期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	(第10期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査												
目的 (調査票の作成段階での想定)	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること 介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること 													
調査対象	要介護1～5以外の高齢者													
調査項目数	必須項目35問 オプション項目29問	必須項目35問 オプション項目 30 問												
設問の内容	<table border="1"> <tr> <td>「リスクの発生状況」の把握</td><td>基本チェックリストで設定したもの「虚弱」高齢者を把握する項目</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 運動器の機能低下 低栄養の傾向 口腔機能の低下 閉じこもり傾向 認知機能の低下 </td></tr> <tr> <td></td><td>その他</td><td> <ul style="list-style-type: none"> IADL／転倒リスク </td></tr> </table>	「リスクの発生状況」の把握	基本チェックリストで設定したもの「虚弱」高齢者を把握する項目	<ul style="list-style-type: none"> 運動器の機能低下 低栄養の傾向 口腔機能の低下 閉じこもり傾向 認知機能の低下 		その他	<ul style="list-style-type: none"> IADL／転倒リスク 	<table border="1"> <tr> <td>「社会資源」等の把握</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 地域づくりへの参加意向 主観的幸福感 等 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 地域づくりの場への参加意向 (担い手として／参加者として) 就労の状況 主観的幸福感 等 </td></tr> <tr> <td>その他</td><td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 認知症にかかる相談窓口の認知度 </td></tr> </table>	「社会資源」等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 地域づくりへの参加意向 主観的幸福感 等 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 地域づくりの場への参加意向 (担い手として／参加者として) 就労の状況 主観的幸福感 等 	その他	<ul style="list-style-type: none"> 認知症にかかる相談窓口の認知度 	
「リスクの発生状況」の把握	基本チェックリストで設定したもの「虚弱」高齢者を把握する項目	<ul style="list-style-type: none"> 運動器の機能低下 低栄養の傾向 口腔機能の低下 閉じこもり傾向 認知機能の低下 												
	その他	<ul style="list-style-type: none"> IADL／転倒リスク 												
「社会資源」等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 地域づくりへの参加意向 主観的幸福感 等 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 地域づくりの場への参加意向 (担い手として／参加者として) 就労の状況 主観的幸福感 等 												
その他	<ul style="list-style-type: none"> 認知症にかかる相談窓口の認知度 													
その他		<ul style="list-style-type: none"> 調査結果と個人が照合できるかたちの調査票を提示 												
標準的な実施方法	「実施の手引き」「活用の手引き」の提示													
見える化システムへの登録	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、オプション項目への回答)													

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施にあたっての根拠資料

○ 介護保険法(平成9年法律第123号)

第117条 市町村は、基本指針に即して、3年を一期とする当該市町村が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画(以下「市町村介護保険事業計画」という。)を定めるものとする。

5 市町村は、第2項第一号の規定により当該市町村が定める区域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握するとともに、第118条の2第1項の規定により公表された結果その他の介護保険事業の実施の状況に関する情報を分析した上で、当該事情及び当該分析の結果を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めるものとする。

○ 介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針(令和6年1月19日厚生労働省告示第18号)

第二 市町村介護保険事業計画の作成に関する事項

一 市町村介護保険事業計画の作成に関する基本的事項

2 要介護者等地域の実態の把握等

(三)調査の実施

市町村は、被保険者のサービスの利用に関する意向等を把握するとともに、自らが定める区域ごとに被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情等、要介護者等の実態に関する調査(以下「各種調査等」という。)の実施に努めるものとする。なお、その際は、特に、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を活用することが重要である。～中略～

さらに、これらの調査により定量的に把握された心身の状況が低下した被保険者の状況や働きながら介護に取り組む家族の状況等を参考として、生活支援サービスや介護予防事業の充実等の取組、介護離職の防止を含む家族等への支援の観点を踏まえた介護サービスの整備や、介護離職防止の観点から労働担当部局と連携した職場環境の改善に関する普及啓発等の取組を市町村介護保険事業計画に定めるとともに、それらの取組を勘案して要介護者等の人数やサービス量の見込みを定めることが望ましい。

I 在宅介護実態調査とは？

(1) 介護保険事業計画の作成に向けた議論の材料を提供する調査

- 在宅介護実態調査においては、「要介護者の在宅生活の継続」と「介護者の就労の継続」の2つの基本的な視点に基づき、下図のような「取組の成果を測るための指標（参照指標）」が設定されています。
- そして、在宅介護実態調査の結果は、その参照指標を改善するための「サービス提供体制の構築方針」を検討するために活用することが主要な目的の1つに位置付けられています。

＜基本的な視点を踏まえた方針の検討のイメージ＞

